

公益財団法人キワニス日本財団 平成 29 年度事業報告書
(平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

I. 法人の状況に関する重要な事項

1. 実施事業

(1) 国内公益的事業助成 (公①事業)

- 各地のキワニスクラブが行う次の 10 事業に対し総計 2,120,000 円の助成をした。その財源は KCF が日本に保有する口座から KCF 理事会の承認を得て支出された助成金及び日本地区からの助成金である。
 - ① 東京クラブの「子ども食堂」事業 (子どもの貧困・孤食のコミュニティ対策として会員がコミュニティの場を作り共に食卓を囲む) 150,000 円
 - ② 東京クラブの「子ども料理教室」事業 (孤食児童・児童養護施設園生を対象として簡単な料理教室を開き、会員とともに食事をする) 150,000 円
 - ③ 東京クラブの児童養護施設卒園進学者奨学金事業 (学費及び生活費の補助) 300,000 円
 - ④ 大阪クラブの大阪府、大阪市の児童虐待防止・保護用の自動車購入支援 300,000 円
 - ⑤ 横浜クラブの母と子どものためのコンサート 300,000 円
 - ⑥ 和歌山クラブのキワニス子ども文庫 160,000 円
 - ⑦ 埼玉クラブの子ども作文コンクール 160,000 円
 - ⑧ 鹿児島クラブの青少年育成「夏の体験キャンプ」開催 200,000 円
 - ⑨ 鹿児島クラブの日本青年会議所鹿児島支部の大会にキワニスのブース出展、活動の PR を行う 100,000 円
 - ⑩ 関東デイビジョンの力士と遊ぶ会 (小学校にて実施) 300,000 円

- 一般公募に係る次の 3 事業に対し総計 700,000 円を助成した。その財源は KCF が日本に保有する口座から KCF 理事会の承認を得て支出された助成金および日本地区からの助成金である。
 - ① 札幌クラブ推薦に係るサッポロ・シティ・ジャズ実行委員会援助 (音楽と読み聞かせを合わせた企画) 300,000 円
 - ② 和歌山クラブ推薦にかかる上富田町青少年育成町民会議が行う震災地体験訪問事業への援助 250,000 円
 - ③ 名古屋クラブ推薦にかかる名古屋教育委員会が主催する家庭教育講演会への協賛金 150,000 円

- 特定目的事業（使途がクラブの行う特定事業に限定された寄付により助成が行われる事業）として次の 2 事業を認めた。

- ① 大阪クラブの行う児童虐待通告に伴う児童の安全確保・保護用車両の寄贈事業 900,000 円
- ② 東京クラブの行う児童養護施設卒園進学者奨学金事業 400,000 円

(2) 文化・芸術の表彰事業（公②事業）

キワニス日本文化賞を国際キワニス日本地区と連名で、島根県の伝統芸能の保存と継承に努めている有福（ありふく）子供神楽社中及び大尾谷（おおだに）子供神楽社中に授与した。財源は日本地区からの助成金である。

700,000 円

(3) 災害援助（公③事業）

- ① 平成 28 年 8 月にイタリア中部を襲った地震被害につき
11 月 1 日、1,027,000 円をイタリアのカターニャ・クラブ宛に送金。
- ② 平成 29 年 7 月に北九州地方を襲った豪雨被害につき内閣府防災ページに掲載された被害状況に基づいて
9 月 27 日、1,340,000 円を福岡クラブへ、250,000 円を大分クラブへ、60,000 円を熊本クラブへ送金。

(4) 英雄的自己犠牲行為の表彰（公④事業）

選ばれた方が辞退されたので該当者なしとした。

(5) 海外に於ける公益的事業助成(公⑤事業)

海外に於ける公益的事業に対する助成としては次の 3 件総計 900,000 円の助成を行った。財源は日本地区からの助成金である。

- ① 千代田クラブ推薦の南米ボリビア、サレジオ協会が行う路上生活児・孤児の保護救済と教育支援プロジェクトへの支援 300,000 円
- ② NPO 法人「子どもに笑顔」が行う顔面に障害のある子ども達の手術のため医療チームをミャンマーに派遣する事業支援 300,000 円
- ③ 福岡クラブが行うカンボジアの子どもたちへの通学用自転車寄贈プロジェクトへの支援 300,000 円

(6) 世界の子ども達に奉仕する事業への助成（公⑥事業）

- ① アニュアル・クラブ・ギフト・キャンペーン
各クラブにアニュアル・ギヴィング・プログラム（KCF が主導して行っている KCF の公益的事業への資金助成の財源を作るための世界的な募

金活動)への参加を呼びかけ総額 2,556,500 円の募金ができ、KCF の日本口座に振り込んだ。この口座の資金は KCF との協定により KCF 理事会の承認を得て日本国内の子どものための奉仕活動に使うことが出来るものである。本年度も上記(1)及び(2)の助成事業の財源として活用している。

② エリミネイト・キャンペーン

国際キワニスが世界的に展開してきた妊産婦新生児破傷風撲滅のための募金活動(エリミネイト)は、2015 年 12 月末をもって終了したが、この間 KJF がその募金を行っている日本地区は寄付及びプレッジ総額で 1,214,514 ドルの実績を挙げた。このうちキャッシュベースの送金実績は平成 29 年 9 月末現在累積で 1,191,871 ドル、差額はプレッジの実行として平成 30 年度以降現金の払込が必要なものである。本年度の日本地区のキャッシュベース募金実績は 7,763,406 円 (68,502 ドル)であった。全世界では 2017 年 9 月 23 日現在でプレッジを含め 110,000 千ドル (目標 110,000 千ドル)であった。この資金は最終的には UNICEF へ寄贈され、妊産婦新生児破傷風撲滅活動の資金となるものである。

2. 組織関係

(1) 定款の改正

改正はなかった

(2) 評議員の異動

退任 木村太郎、深山靖、前田泰道、西川公一朗、吉田民憲、由井美恵子、長門博之

新任 中田一男、川村保憲、前田哲朗、山木 紘、河辺善一、本間充武
山下永壽

重任 津村潤治

(3) 理事及び監事の異動

退任 小池和子、横山太藏、中村 満、酒井富雄 (監事)

新任 吉田浩二、荒木幹光、重盛徹志、清重尚弘、青野厚子 (監事)

重任 塚越孝三、藤岡 旭、三野容志郎、橋田紘一、早川典宏、岡野英生 (監事)

(4) 会議の開催

主たる会議の開催状況は次の通りである。

① 評議員会

定時評議員会 平成 28 年 11 月 28 日（月）書面による決議

② 理事会

第 1 回 平成 28 年 11 月 7 日（月）

第 2 回 平成 28 年 11 月 18 日（金）書面による決議

第 3 回 平成 28 年 11 月 28 日（月）

第 4 回 平成 29 年 4 月 4 日（火）書面による決議

第 5 回 平成 29 年 5 月 15 日（月）

第 6 回 平成 29 年 9 月 8 日（金）

③ その他

事業選定委員会 平成 29 年 3 月 14 日（火）

(5) 管理費

財団の管理費に充当するための寄付を募ることとなり、2,648,000 円の寄付があり、この範囲内で財団の管理費を賄った。

II. 業務の適正を確保するための体制の整備についての決定又は決議の内容の概要
該当するものはない。

平成 29 年度事業報告書付属明細書

平成 28 年 10 月 1 日から平成 29 年 9 月 30 日まで

公益財団法人キワニス日本財団

役員名簿（兼職状況）

評議員

評議員	中田 一男	(東京)	
評議員	川村 保憲	(名古屋)	愛知日野自動車(株) 代表取締役社長
評議員	前田 哲朗	(大阪)	
評議員	津村 潤治	(高松)	三彩商事(株) 代表取締役社長
評議員	山木 紘	(京都)	ヤマキ商事(株) 代表取締役
評議員	河辺 善一	(札幌)	札幌河辺石油(株) 代表取締役
評議員	本間 充武	(千葉)	(株)ダイサン 代表取締役社長
評議員	山下 永壽	(熊本)	山下法律事務所所長

理事

理事長	吉田 浩二	(東京)	保険コンサルタント
理事	塚越 孝三	(東京)	
理事	清重 尚弘	(熊本)	九州ルーテル学院大学長
理事	藤岡 旭	(名古屋)	
理事	三野 容志郎	(高松)	四国通商(株) 代表取締役社長
理事	橋田 紘一	(福岡)	(株)九電工 相談役
理事	荒木 幹光	(埼玉)	東京日語学院 学院長
理事	重盛 徹志	(西宮)	新コスモス電機(株) 代表取締役会長
理事	早川 典宏	(熊本)	(資)ハヤカワ運動具店 代表取締役会長

監事

監事	青野 厚子	(東京)	
監事	岡野 英生	(名古屋)	公認会計士 (有)あずさ監査法人副事務所長